

函館市における国語(A・B)の状況(中学校)

◇得意: 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと

■苦手: 複数の資料から適切な情報を得て、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと

正答率が最も高い問題

正答率: 99.0

次のアからオの文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ1つ選びなさい。(国語A)
・厳しい挑戦だということは、(1 もしも 2 どうか 3 めったに 4 **もちろん**)分かっています。

正答率が最も低い問題

正答率: 26.3

次の1から3までの文中の — 線部のカタカナを漢字に直し、楷書でいねい
に書きなさい。(国語A)

・今までにない ドクソウ 的な考えだ。

《正答および誤答》

- ① 「独創」と正解しているもの
- ② 「独創」のうち、「独」だけ正しく解答しているもの
- ③ 「独創」のうち、「創」だけ正しく解答しているもの
- ④ 上記以外の解答
- ⑤ 無解答

解答率

26.3
59.2
0.3
5.6
8.7

【図鑑の説明】



【物語の一部 (※抜粋)】

「あたりや、こんなけだるな電気がいいもんだ。火事の心配がなくて、明るくて、マツチはくぬい、なかなか便利もんだ。」
「へっ、へっ、これんなものをぶらさげてもんよ。これじゃ甘酒屋の店なんだから開かぬけてしまった。客も来たらうよ。」
「甘酒屋は、相手ランプ売りにあることに気がついたので、電灯の便利なことはもういわなかった。」
「アア、甘酒屋とツッパあん、見なよ、あの天井の電灯を、ながねんのランプの煤であそこだけ真っ黒にするよ。ランプは
もつとあそこについてしまったんだ。今になって電気がいい便利なんがきたからとて、あそこからはやされて、あんさん
のすみっこにひっかけられるのは、ランプがかわいそうよ。」
「こんなうらに、甘酒屋の雨をもつて、電灯のよいことはなとめなかった。」
「ところで、でもまあ晩になって、だれもマッチ一本すらなかったのに、とつぜん甘酒屋の店が真昼のように明るくなったので、
口助はびっくりした。あまり明るいので、口助は思わずうしろをのぞいてみた。はははは。」
「口助さん、これが電気だよ。」
「口助は目をくわいて、ながいあいだ電灯を見つめていた。敵でもにらんでいないようにおどろきであった。あまり見づめ
ていて、脚のたまたまが痛くなったほどだった。」
「口助さん、さういっちゃあんが、とてもしらな太刀打ちはできないよ。ちよつと外へくひを出て、町通りを見てくださいよ。」
「口助はむつり入り口の障子をあけて、通りをながめた。どこか家ごとの店にも、甘酒屋のと同じように明るい電灯がど
もついていた。光は家の中にあつて、道の上にもこぼれていた。ランプを見なれて、口助にはまさかとは思はずさほどのあか
りだった。口助は、くやしさに顔をいきをしながら、これも長い間ながめていた。」

〔注〕 ひげをたけなひげのなままだ。
〔注〕 道のくろい道のじ。

〔新登場人物〕 おじいさんのランプ(こ)とよ。

無解答率が最も高い問題

無解答率: 24.2

あなたは、【図鑑の説明】を読むことで、【物語の一部】の の中のどの
部分についてよく分かるようになりましたか。

よく分かるようになった部分と、その部分についてどの
のようなことが分かったのかを、次の条件1と条件2に
したがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消
したり行間に書き加えたりしてもかまいません。(国語B)

条件1 【物語の一部】の の中のどの部分につ
いてよく分かるようになったのかを明確にして書く
こと。

条件2 条件1で取り上げた部分について、どのよう
なことが分かったのかを【図鑑の説明】の内容に触
れて書くこと。

解答例

図鑑の説明から、天井が煤で真っ黒になっているの
は、ほやの上の口から煤が出るためであることが分か
りました。

函館市における数学(A・B)の状況(中学校)

◇得意：正の数と負の数の加法の計算をすること

■苦手：与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること

正答率が最も高い問題

正答率：89.6

次の問いに答えなさい。(数学A)
 $-3 + (-7)$ を計算しなさい。

正答率が最も低い問題

正答率：13.7

美咲さんは、数当てゲームを行うために、次(→手順A)の手順を考えました。

この数当てゲームは、手順通りに求めた数(⑤の計算結果)を教えてもらい、その数から、最初に決めた数(①で決めた数)を当てる遊びです。

美咲さんは、この数当てゲームを優太さんと行いました。



最初に決めた数を a として、前ページ(→手順A)の手順にしたがって計算すると、次(→手順B)のようになります。

最初に決めた数を a とすると、手順通りに求めた数は $5a + 10$ という文字式で表されます。手順通りに求めた数 $5a + 10$ から最初に決めた数を当てる方法を説明しなさい。(算数B)

《正答の条件》

- (a), (b) または (a), (c) について記述しているもの。
 - (a) 手順通りに求めた数を基にすること
 - (b) 10をひいて5でわること
 - (c) 5でわって2をひくこと
- (a) に関する記述がなく、(b) または (c) の条件を満たして記述しているもの。
- 上記以外で、「最初に決めた数 a を当てる方法」を正しく記述しているもの。

手順A

- ① 最初に数を1つ決める。
- ② ①で決めた数に10をかける。
- ③ ②の数から8をひく。
- ④ ③の数を2でわる。
- ⑤ ④の数に14をたす。

美咲さんは、手順通りに求めた数が30であることから、優太さんが最初に求めた数は4であることを当てました。

どのようにして当てることができたのか、文字を使って、その方法を考えます。

手順B

- ① 最初に決めた数を a とする。
- ② $a \times 10 = 10a$
- ③ $10a - 8$
- ④ $(10a - 8) \div 2 = 5a - 4$
- ⑤ $(5a - 4) + 14 = 5a + 10$

誤答について

誤答について	[解答率]
$5a + 10$ を言葉で表しているもの	0.2
(b), (c)の記述に誤りがあるもの	6.0
上記以外の回答	35.8
無解答	44.3